

# 花木鉢物のわい化栽培

## 第2報 ベニゲンペイカズラの茎伸長及び着花に対するウニコナゾールPの作用

福留 弘 康

(農学部附属農場)

### 緒 言

指宿植物試験場の花木鉢生産において、これまでにゲンペイカズラ (*Clerodendrum thomsoniae* Balf.), ベニゲンペイカズラ (*Clerodendrum × speciosum*. Lem) 及びアリアケカズラ (*Allamanda cathartica* L.) の栽培方法について試験を行っている。そして、ゲンペイカズラの交雑種であるベニゲンペイカズラは茎が徒長しやすく、草姿がまとまりにくいという欠点が明らかとなった。前報<sup>1)</sup>で、ベニゲンペイカズラの茎伸長がもっとも盛んな7月にわい化剤の一種であるウニコナゾールPを葉面散布することにより、茎の伸長抑制が可能であることを見いだした。本実験ではベニゲンペイカズラの着花時期である10月以降の茎伸長期にウニコナゾールPを使用し、茎の伸長抑制及び着花の効果を検討をした。

### 材料と方法

1999年7月15日、6号黒ポリポットに3本植えて栽培してあったベニゲンペイカズラの植え替えを行い、5号黒ポリポットに3本植えとした。10月1日に徒長枝の剪定をし、草姿を整えた。ウニコナゾールPは市販のスミセブンP(ウニコナゾールP含有量0.025%, アグロス社製)を使用し、これを100倍に希釈し、10月12日に1鉢当たり20mlを葉面散布した。対照区には蒸留水を用いた。両区とも5鉢を供試し、その後の管理は慣行法とした。また、肥料は7月26日と11月12日に尿素入りIB化成(10:10:10)を1鉢当たり3gずつ置肥した。

調査は、ウニコナゾールP処理以降に伸長した1鉢当たり3本の茎長と展開葉2枚のSPAD値について毎週1回測定し、節数及び節間長はいずれも処理後9週目と13週目に、着花及び花数は13週目に行った。SPAD値はミノルタ株式会社の葉緑素計SPAD-502を使用した。

### 結果と考察

茎の伸長量は6週目まで両区とも緩やかに伸長したが、その後対照区が急激に伸び始め13週目では処理区との差は18cmとなり、ウニコナゾールP処理区の茎伸長は明確に抑制された(第1図)。

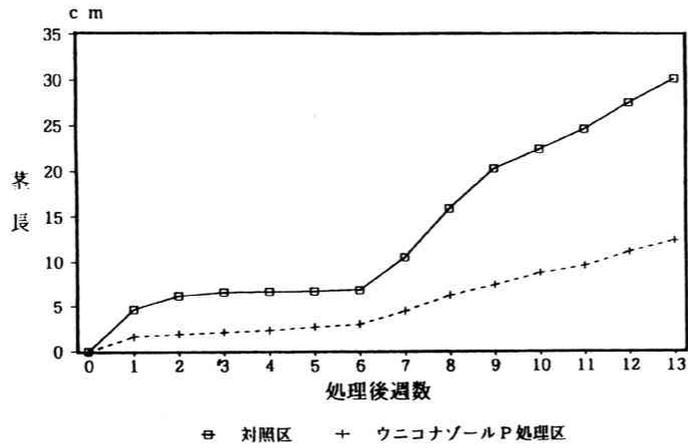
わい化剤処理により葉色が増すという報告がいくつかみられるが、ベニゲンペイカズラにおいても、ウニコナゾールP処理以降の展開葉のSPAD値は、ウニコナゾールP区が常に対照区よりも高い値を示した(第2図)。なお5週目(11月16日)から8週目にかけて両区ともSPAD値が増加しているが、これは11月12日に施用した化成肥料の作用によると思われる。

節数は、9週目、13週目ともウニコナゾールP処理区が、わずかに少なくなった。しかし節間長は、ウニコナゾールP処理区が対照区の約2分の1となり、ウニコナゾールP茎伸長抑制の作用は節数にはほとんど影響せず、節間長を減少させることによるものであった(第1表)。

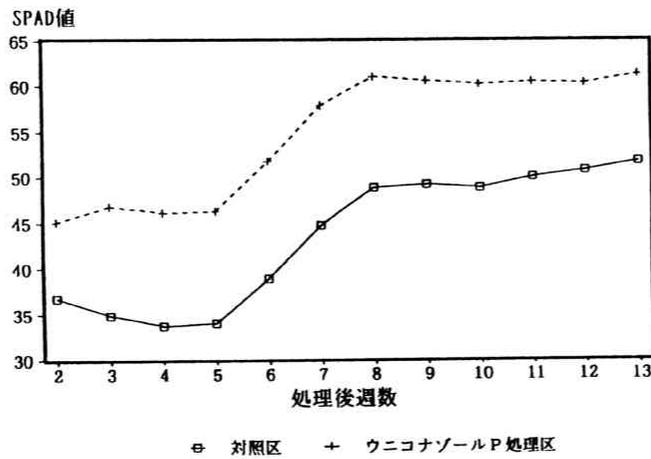
ツツジ類、シャクナゲ類などいくつかの花卉類ではわい化剤処理により、花芽形成の促進などが報告されている。ベニゲンペイカズラでも、着花はウニコナゾールP処理区だけに見られ、花芽が肉眼で確認された時期は、処理後約50日目であった。また花数は平均26.5個であり、茎の伸長抑制作用だけでなく、着花の促進効果も認められた(第2表)。

以上のことより、ウニコナゾールPを使用することで、ベニゲンペイカズラの茎の伸長を抑制できることが明らかとなった。また、わい化剤を使用することでみられる葉色の濃緑化や、着花をよくするという効果がベニゲンペイカズラでも認められたことは、ベニゲンペイカズラの良質鉢物生産への可能性を開くものと期待される。

1) 福留弘康 2000 花木鉢物のわい化栽培 第1報 ベニゲンペイカズラ, アリアケカズラの茎伸長抑制に対するウニコナゾールPの作用. 鹿児島大学農学部農場技術調査報告書 8:18-19.



第1図 ウニコナゾールP処理がベニゲンペイカズラの茎伸長に及ぼす作用



第2図 ウニコナゾールP処理後のベニゲンペイカズラ展開葉のSPAD値の推移

第1表 ウニコナゾールP処理がベニゲンペイカズラの節数及び節間長に及ぼす影響

| 処理区      | 9   |          | 13  |          | 17 (処理後週数) |          |
|----------|-----|----------|-----|----------|------------|----------|
|          | 節数  | 節間長 (cm) | 節数  | 節間長 (cm) | 節数         | 節間長 (cm) |
| 対照区      | 5.4 | 3.8      | 6.4 | 4.7      | 7.9        | 4.4      |
| ウニコナゾールP | 5.1 | 1.5      | 5.8 | 2.1      | 6.3        | 2.7      |

第2表 ウニコナゾールP処理がベニゲンペイカズラの花数に及ぼす影響

| 処理区      | 着花日    | 1鉢着花数 |
|----------|--------|-------|
| 対照区      | なし     | 0     |
| ウニコナゾールP | 11月29日 | 26.5  |